

(福) ケアハウス信愛館

桜も満開。美しい季節を迎えました。近くで咲く桜はもちろんの事、信愛館四階から眺める琵琶湖と共に見える遠くの景色、こちらもまた見事です。自然に恵まれた環境にあらためて感謝する時でもあります。もし機会がありましたら一度信愛館にお立ち寄り下さい。行事中以外は、いつでも見学受け付けています。

◆二月十六日(木)「近江八幡の節句人形めぐりツアー」に出掛け、今回は旧伴家住宅に並ぶお雛さまを鑑賞しました。



信愛館でも毎年雛人形を飾りますが、時代によって変わる顔立ち、装束、道具など入居者の方々は熱心に見て回られ、「信愛館のお雛様とは持たれている手が左右違うわね。」「道具の飾りもそれぞれ違っていてもしろいわね」と、会話も弾み熱心にご覧になっていました。この後琵琶湖畔の喫茶店で素晴らしい景色も堪能し、お茶を楽しみました。

◆三月十四日(火)滋賀県立美術館で行われていた「ウォルター・クレインの本の仕事」と題した展覧会の鑑賞に出掛けました。現代の絵本の基礎を築いたイギリスの画家で、日本での絵本のイメージと違って、子供向けとはいえ本格的な絵画でした。色の使い方や人物の描き方に特徴があり、それまで線として使われていた黒色を絵画の中の一つの色として使っているのが印象的でした。「マザーグース」の挿絵を始めとして、知っている童話の挿絵も多くあり、日本の絵本との比較もでき、絵本を通して十九世紀頃のイギリスの風俗や生活も伺い知ることができた、とても印象に残る絵画展でした。多くの作品が展示されていたにもかかわらず、皆様真剣に鑑賞されていました。この後、喫茶店に立ち寄りティータイム。おしゃべりも楽しみ、皆様は口々に「もう少し絵が大きければよかったけれど、でもリフレッシュできてよかった」との感想でした。「今度はドライブに」との希望もよせられ、また出掛けるつもりです。